

NYK バルク・プロジェクト
多目的コンテナ船「South Islander」の見学会を実施

当協会は、「海と日本プロジェクト」の一環として、会員会社をはじめ、関係団体と連携し、商船や造船所の見学会などを「船ってサイコ〜」と題して実施し、海運の重要性を一般の方々に広く認識いただくべく広報活動に力をいれております。

今般、NYK バルク・プロジェクトのご協力のもと、8月18日（金）に神戸市・六甲アイランドおよび8月21日（月）に名古屋市・金城ふ頭において多目的コンテナ船「South Islander」の見学会を開催し、合わせて約30名が参加しました。

両日、同社 藤原ポートキャプテンの案内のもと、貨物デッキでは、自動車の積み付けの様子を見学し、車の間隔を10cmに保って駐車する高い技術を持った専門のドライバーが荷役を行うなどの説明を受けながら、積み付けの様子に興味深く見ている様子でした。その後、キャビンにて本船の概要、航路等の説明を受けた後、船長室を經由し、操舵室（ブリッジ）を見学しました。操舵室では船員の航海中の役割・業務内容や六分儀を活用した航海術のほか、船の停止方法、夜間の航海等について、機器等を用いた説明がありました。また、参加者らは舵輪に触れたり、写真撮影をするなどして思い思いの時間を過ごしました。さらに、機関室（エンジンルーム）ではメインエンジンや発電機を管理するパネルやモーター類の説明を受けたほか、機関室内部を歩き、メインエンジンを間近に見ることもできました。



参加者からは「船員の平均年齢は」「船に乗るやりがいは」「1日にどれぐらいの燃料を使うの」など活発に質問が飛び交うなど、海運や船員の仕事に興味を持っていただけた様子でした。見学会後のアンケートでは「見るもの全てが珍しく、来てよかったと思える見学会だった」「船の上から見る風景が印象的だった」「来年もぜひ参加したい」などのコメントも寄せられ、普段触れる機会の少ない商船や海運を身近に感じてもらえる見学会となりました。

当協会は引き続き会員会社と連携し、日々の暮らしを支える海運について広く知っていただくための活動を実施してまいります。

